

別 紙

表1 光脱毛法の手順とその効用

処置段階	処理内容	作用・効果
1. プレヒー テング	照射時間 約 10 秒、照射領域 30 ～ 50mm φ 弱強度の近赤外光 を脱毛箇所全体に照射する	皮膚温度を上昇させ、毛穴 を開かせ、皮脂腺の温度を 予め上昇させておく
2. 赤色光の 照射	照射時間 0.5 ～ 1.0秒 照射領域 約 5mm φ	皮脂腺開口部にある毛の因 子を乾固させる
3. 青色光の 照射	照射時間 0.5 ～ 1.0秒 照射領域 約 10 mm φ	皮脂腺と毛囊内の毛の因子 を乾固させる
4. ワックス 脱毛	脱毛ワックスを脱毛箇所に塗り、 毛を抜く	乾固した組織の毛を皮膚表 面から抜く
5. スロー グロー	脱毛処理によって開いた毛穴に擦 り込むように <u>蛋白分解酵素を含有 する塗布剤</u> を塗布する	蛋白質分解酵素により毛の 因子の蛋白質を分解し毛の 成長、発育を抑制する
6. フラッシ ング	照射時間 約 10 秒 照射領域 30 ～ 50 mm φ 弱強度の近赤外光 を脱毛した箇所全体に照射する	蛋白質分解酵素の働きを活 性化させ皮脂腺のすみずみ まで行きわたらせる
7. モイスチ ャライザ	鎮静塗布剤を脱毛終了箇所に塗布 する	脱毛処置後の皮膚に対する 負担を鎮静化する